



会津農林かわら版

会津農林かわら版 第36号(令和5年2月)

会津農林事務所の取組紹介

＼ あいづ木育キャラバンを開催しました ／

一般の方が地域の木材に触れ、地域の森林・林業に関心を持っていただくことを目的に、今年度から新たな取組として「あいづ木育キャラバン」を実施しました。



▲作成した赤べこキーホルダー

喜多方市ひとつくり・交流拠点複合施設アイデミきたかたにおいて、喜多方市の協力のもと、子どもから大人まで木製品と触れ合うことができる、木のおもちゃの遊び場を令和4年11月18日から21日まで開設しました。また、そのうちの2日間は木工クラフト体験も実施しました。

来場した子どもたちは、会津の特産品である「会津桐」や、南会津の広葉樹、県産ヒノキを使った木のおもちゃを使って楽しんでいました。また、クラフト体験では、木工房 MEGURO（柳津町）の目黒 照枝 氏の指導の下、「会津桐」を材料とした赤べこキーホルダーを作成しました。一緒に参加した保護者からは「木や木材に触れ合える、このような機会は少ないため、参加できて良かった」などの声がありました。

アイデミきたかたには、屋内子ども遊び場が常設されていることもあり、期間中は子ども・大人合わせて50人以上が来場しました。木製品に触れ合うことにより、木材の良さや利用の意義を学んでいただけたと考えています。今後は、幼稚園等へ木のおもちゃを貸し出す取組なども検討しているところです。引き続き木育の推進に努めてまいります。【森林林業部】



◀木のおもちゃの遊び場

第36号 目次

会津農林事務所の取組紹介 あいづ木育キャラバンを開催しました / 学校給食で「おたねにんじん」を活用した食育を実施しました / 「おいしい ふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しました / 高校生林業見学会を開催しました / あいづ「まるごと」ネット第2回交流会を開催しました / 揚津地区における地すべり対策事業が完了しました / 令和4年8月3日～4日発生豪雨災害（農地・農業用施設）の災害査定が終了しました / 「奥会津道の駅6次化」いもの“発見！スタンプラリー”を行いました / 東京で6次化商品の販売会及びマーケティング調査を実施しました / 第3回緑の教室を開催しました / 「会津の棚田応援キャンペーン」で棚田の魅力を発信しました / ふくしま県GAP認証書交付式を行いました / 令和4年度新規就農者等研修会「土づくりの基礎講座」を開催しました / 復興再生基盤総合整備事業駒形第三地区の権利者会議が行われました / 会津地域新規就農者等担い手確保・育成連携協議会を開催しました / 農作業安全研修を開催しました / 令和4年度きゅうり環境制御基礎セミナーを開催しました / 令和4年度「グリーンな栽培体系への転換サポート」直播実績検討会を開催しました / 令和4年度新規就農者等研修会「～タネ屋だからわかる品種の話～」を開催しました / フレッシュ農業講座を開催しました / 会津地方フラワーネットワークを設立しました

がんばる農林漁業者等の取組紹介 会津桐の植樹祭が開催されました / 「五十軒・砂川ふる里づくり会」が多面的機能支払の活動で優秀賞（福島民報社賞）を受賞しました

会津農林事務所からのお知らせ 宿根かすみそうの生産者をサイトでご紹介しています / 農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400のネタばらし」配信中 / 会津農林事務所 SNS 更新中 / あいづ「まるごと」ネット会員募集中 / 会津の6次化商品のご紹介

＼ 学校給食で「おたねにんじん」を活用した食育を実施しました ＼

小中学生やその家族に、会津の伝統野菜であるおたねにんじんへの関心を高めていただくため、平成30年度より、管内の小中学校と連携し、学校給食でおたねにんじんを提供する取組を行っています。

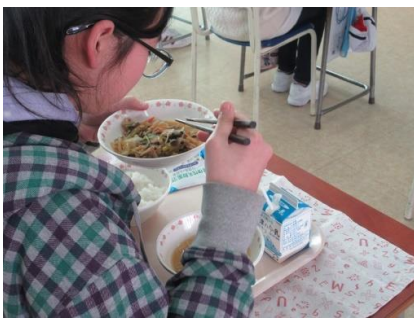
今年度は、管内の小中学校32校においておたねにんじんを提供しました。

令和5年1月31日は、会津若松市立謹教小学校の学校給食で、おたねにんじん入りの「プルコギ」が提供されました。児童からは、「少し苦かったけど美味しかった」、「会津の伝統野菜を知ることができて良かった」などの感想がありました。

また、今回の取組は、会津大学短期大学部 食物栄養学科と連携しており、^{ひだり かずや}左一八教授のゼミの皆さんに学校給食で提供する料理のレシピ考案をお願いしました。

左ゼミの皆さんに考案していただいた、おたねにんじんを使った「かぼちゃシチュー」、「グラタンコロッケ」、「とり肉のハニーマスタード焼き」が実際に11校の給食メニューとして使われました。ゼミの皆さんには、児童生徒に美味しく食べてもらいたいという思いから、積極的にレシピ作りを取組んでいただきました。

今後も地産地消及び食育の推進のため、関係機関と連携しながら、おたねにんじんの生産振興と利用拡大を図ってまいります。【企画部】



▲おたねにんじん入りプルコギを味わう児童



▲会津大学短期大学部 食物栄養学科 左ゼミの皆さん



かぼちゃシチュー
▲提供された学校給食

＼ 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました ＼

令和4年12月3日、会津管内の宿泊施設（6施設）において、第4回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しました。

対象宿泊施設に宿泊し、県産農林水産物等に関するアンケートに回答いただいた方へGAP認証の会津産コシヒカリ300gをプレゼントしました。

また、チラシを配布し、GAPの取組や会津のお米、会津の棚田などをPRしました。

宿泊者からは、「福島県はお米も野菜も美味しいので、これからもPRを続けてほしい」、「福島県を応援しています」などの声がありました。

アンケート調査の結果では、約7割の方から「GAPについてよく知らなかった」と回答があったことから、今後は、GAPの取組や県産農林水産物の魅力を重点的に発信していきたいと思えます。

次回は、3月4日にファーマーズマーケット「まんま〜じゃ」で第5回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催する予定です。【企画部】



▲プレゼント配布の様子

＼ 高校生林業見学会を開催しました ／

林業分野への新規就業者の確保と林業への理解促進を目的として、高校生を対象に林業見学会を開催しました。山の恵みやプロの技に触れたことで、林業をより身近に感じ、地域の森林環境保全等について考えるきっかけとなり、生徒のみならず教諭の方々にも林業の現場や役割等について正しく理解いただけたと思います。【森林林業部】

耶麻農業高等学校

令和4年11月8日、1年生12名と教諭2名を対象に、山の恵みを活かしたものづくり体験と題して、特色ある地元産業を知り・体験することを目的に、「出ヶ原和紙づくり」と「山ぶどうヅル細工」体験を行いました。

和紙づくり体験は、出ヶ原和紙工房（西会津町）の協力の下、原料のヒメコウゾから繊維を取り出し、紙すきに至るまでの工程を体験しました。山ぶどうヅル細工では、三島町生活工芸館にサポートいただき、ストラップづくりを体験しました。



▲和紙づくり体験の様子

会津農林高等学校

令和4年11月22日、2年生13名と教諭2名を対象に、森林整備の現場や製材所、きのこ生産施設の見学を実施しました。

当日は、有限会社六和林業（猪苗代町）から高性能林業機械等を使った木材生産について、堀木材株式会社（会津坂下町）から帯鋸おびのこによる木材の加工方法について、有限会社エム・ガーデン（磐梯町）から菌床しいたけの栽培方法などについて、実演を交えた講義をいただきました。



▲森林での講義の様子

＼ あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました ／

令和5年2月8日、道の駅あいづ湯川・会津坂下において、あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催しました。

あいづ“まるごと”ネット（事務局：会津農林事務所、南会津農林事務所）の主催で、生産者や関係者など約50名が参加しました。第一部では、福島県観光物産館 館長 櫻田 武氏により「売れる商品、買ってもらえる商品の開発」「売り場での売れ筋商品の違い」のテーマで、実際の商品の事例を示していただきながら、売れる商品のポイントについて講演していただきました。

第二部の情報交換会では、あいづ“まるごと”ネット総合アドバイザーの森文雄氏、山際博美氏、横田純子氏から、それぞれ6次化に関する先進事例などについて発表していただきました。その後、交流会として、講師及び情報交換会の発表者と参加者との名刺交換などを行いました。

また、同会場で、ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンター主催の6次化個別相談会も行われました。

今後も交流会の開催などを通じて、会津・南会津地方の地域産業6次化の推進を図ってまいります。【企画部】



◀講演する櫻田武氏

＼ 揚津地区における地すべり対策事業が完了しました ／

喜多方市高郷町に位置する揚津地区は、平成30年4月に地すべりが発生した地区です。

地表水が集まりやすく浸透しやすい沢状の地形であることに加え、例年より積雪が多かった平成30年の融雪期において多量に地下水が供給されたため、地すべりの発生に繋がったと考えられます。

地すべり発生直後、災害関連緊急地すべり防止事業により、調査観測とポンプを用いた地下水の強制排除を行い、速やかに地すべりの沈静化を図りました。その後、地すべりの状況を監視しながら、地下水を排除するための恒久的な対策として主に集水井^{しゅうすいせい}8基の設置と、地表から地下への水の浸透を防ぐための水路の整備を行いました。さらに、地すべり対策事業揚津Ⅱ期地区として、地下水位等について観測を継続しながら営農の再開に向けた用排水路等の整備を進め、令和5年2月10日をもって全て完了しました。

地区内では営農が再開されているほか、地すべりにより被災した県道新郷荻野停車場線も喜多方建設事務所により復旧工事が行われ、令和3年9月に再開通しています。

【農村整備部】

対策実施後の揚津地区の状況



◀ 営農を再開した地区全景



◀ 設置された集水井

令和4年8月3日～4日発生豪雨災害

＼ (農地・農業用施設)の災害査定が終了しました ／

令和4年8月3日から4日にかけて会津北部を中心に甚大な被害をもたらした豪雨災害の災害査定が、令和4年12月16日に終了しました。

今回の災害では会津地域の7市町村で農地への土砂流入や法面^{のりめん}の崩落、山腹水路等農業用施設の損壊など、農地・農業用施設だけで約26億7千万円の被害を受けました。

国の災害査定とは、市町村等の事業実施主体が災害復旧工事にできるだけ早期に着手できるよう、現地に即応した適切な復旧方法と事業費を決定し、その予算措置が図られるように行われるものです。

今回の災害査定は東北全県で行われ、会津管内では令和4年10月24日から断続的に5週に分け、12月16日までに第1次～第5次査定の計9班289箇所（※3月の地震災害と6月の豪雨災害の7箇所を含む。）の査定が行われました。

今後も被災箇所の早期復旧に努めてまいります。【農村整備部】



▲ 災害査定（実地）の様子



▲ 災害査定（机上）の様子

＼「奥会津道の駅6次化“いいもの”発見！スタンプラリー」を行いました／

奥会津の6次化商品の魅力を多くの方に知っていただくため、令和4年9月から11月にかけて、奥会津の8つの道の駅において、6次化商品の購入でもらえるスタンプを2駅分集めて応募すると、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを行いました。

全国から283通の応募がありました。たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。また、アンケートでは、「普段行かないところに行けて楽しかったです」「地域の特色や6次化商品を知る機会ができました」など、多数の意見をいただきました。

令和5年1月に抽選を行い、当選者40名に「駅長セレクトの特産品詰合せ」をプレゼントしました。

これからも奥会津の6次化商品の応援をよろしくお願いします。【企画部】



◀ 抽選の様子



◀ プレゼント品(一例)

＼ 東京で6次化商品の販売会及びマーケティング調査を実施しました ＼

令和5年2月21日から22日にかけて、日本橋ふくしま館 MIDETTE において、会津地域の6次化商品の販売会「会津まるごとフェア」を開催するとともに、出展した4事業者の6次化商品のマーケティング調査を行いました。お客様からは、「都内でも珍しい良い商品だから更に売り出すべき」「この商品の味のレポートはこうしたらどうか」など、商品に対する率直な意見を伺うことができました。

来店されたお客様の動向やバイヤーの意見を参考にしながら、これからも首都圏での催事への出展や、商品を常設販売していただくなどの販路拡大に繋がるような支援を続けてまいります。

また当日は、会津地域の地域産業6次化の取組を広くPRするため、会津の6次化商品を紹介するチラシを配布したほか、現地の様子をリアルタイムでTwitterに投稿しました。【企画部】



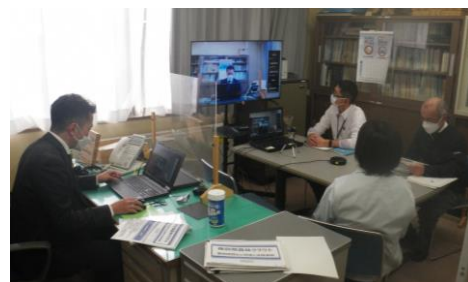
▲ マーケティング調査出展商品

＼ 第3回緑の教室を開催しました ＼

令和4年12月13日、市町村職員を対象として、「ふくしま森林クラウドシステム」の操作について学ぶ、第3回緑の教室を開催しました。

令和元年より運用を開始した「ふくしま森林クラウドシステム」は、参加する県や市町村、林業事業者がネットワークを介し、クラウド上に登録されている各森林情報の確認・更新等が可能なシステムであり、情報共有がスムーズに行われるなど、様々なメリットがあります。しかし、業務で使いこなせていないとの声があったことから、システムの開発業者と当所職員が講師となり、Zoomによるオンライン操作研修会を開催しました。

システムの基本機能から応用操作まで確認できたことで、業務への更なる活用が可能になるものと期待されます。【森林林業部】



▲ 研修の様子

「会津の棚田応援キャンペーン」で棚田の魅力を発信しました

会津地域の棚田の魅力を発信するため、令和4年12月5日から令和5年1月27日まで、「会津の棚田応援キャンペーン」を開催しました。

キャンペーンでは、会津農林事務所 Twitter に、会津地域の棚田や生産者等を紹介する記事を4回投稿し、Twitter をフォローかつ記事をリツイートした人の中から抽選で10名に、棚田米や6次化商品をプレゼントしました。

今回紹介した喜多方市の上堰棚田やこづちやま棚田、北塩原村の川前棚田の地域では、ボランティア活動や棚田オーナー制度を実施したり、また、棚田で生産した米や6次化商品を販売するなど、様々な取組を通して地域の活性化を図っています。

投稿した記事を読んでいた方からは、「会津には魅力的な棚田がたくさんあることが分かりました」、「地域の活性化を応援しています」などのコメントが寄せられました。

今後も、会津農林事務所 Twitter や Instagram を通じて、継続的に棚田の魅力を発信していきたいと思っておりますので、ぜひ応援してください。

【企画部】



▲プレゼントした棚田米や6次化商品

◀キャンペーンチラシ

ふくしま県GAP認証書交付式を行いました

ふくしま県GAP (FGAP) の令和4年度第3回認証委員会において、会津農林事務所管内から新たに5経営体7件の認証が決定し、令和5年1月16日に県会津若松合同庁舎で認証書交付式を行いました。交付式当日は星所長から認証書が手渡され、「FGAP取得者として、県内の模範となる取組や、取組を進める仲間づくりをお願いします」と挨拶がありました。

今後もFGAPを取得されている皆様が継続して取組んでいけるよう、引き続き支援してまいります。

【農業振興普及部】

今回新たに認証された生産者

- ①農事組合法人会津ひらつか農園
(代表理事 平塚 洋一郎 氏、米)
- ②宇川ブルーベリー園
(宇川 勝久 氏、
野菜(にんにく)、果樹(ブルーベリー)の2件)
- ③安藤 直輝 氏(米)
- ④株式会社みなもと農園
(代表取締役 田代 かよ子 氏、
野菜(きゅうり)、きのこ(しいたけ)の2件)
- ⑤金田農園
(金田 善洋 氏、野菜(ほうれんそう))



▲左から 春日部 氏、宇川 氏、安藤 氏、田代 氏、星 所長

【ふくしま県GAP (FGAP)】放射性物質対策を含めた本県独自の基準に従って農作物を生産・出荷する生産者・団体によるGAP (農業生産工程管理) の実践のことで、県が認証しています。

令和4年度新規就農者等研修会

「土づくりの基礎講座」を開催しました

令和5年1月25日、会津若松市北会津支所ピカリンホールにおいて、新規就農者等の栽培技術の向上と専門知識の習得を目的に、令和4年度新規就農者等研修会「土づくりの基礎講座」を開催しました。

新規就農者や新規就農希望者、研修機関の研修生など26名が参加し、土の物理性、生物性、化学性などの基礎的な内容と、土壌改良や有機質肥料の施用、土壌分析値の読み方などの実践的な内容について学びました。

作物の収量や品質を左右する重要な技術であることから、参加者は熱心に受講していました。また、連作障害や不耕起栽培に関する質問が出されるなど、自ら実践する栽培方法と照らし合わせながら、土づくりに関する知識を深めようとする姿勢がうかがえました。【農業振興普及部】



▲研修会の様子

復興再生基盤総合整備事業 駒形第三地区の 権利者会議が行われました

令和4年11月30日、喜多方市塩川町及び湯川村に位置する駒形第三地区において地区全体の換地計画を決定する「権利者会議」が実施されました。「権利者会議」とは、事業の最終年度に行われる、所有する農地の換地計画を決めるための重要な会議のことです。

新型コロナウイルス感染対策のため、会議は土地改良区の役員や関係者など少人数での開催となりましたが、無事、換地計画などの重要議題が決定されました。

駒形第三地区は平成29年度に事業採択され、令和4年度まで6年の歳月と約29億300万円の事業費により、地区面積159.3haの農地の大区画化を行いました。また、農地の大区画化に合わせ、担い手への農地集積も進んでおり、集積率は従前に比べ40%以上向上する見込みとなっています。

今後は都市近郊である立地条件を活かしながら、さらに担い手の育成が推進され、他地区の模範となるような営農が行われることを期待しています。【農村整備部】



▲権利者会議の様子



＼ 会津地域新規就農者等担い手確保・育成連携協議会を開催しました ／

令和5年1月13日、JA会津よつば河東支店において、「第2回会津地域新規就農者等担い手確保・育成連携協議会」を開催しました。

この協議会は、新規就農者の「確保支援・地域定着」に関する情報共有を通じ、効率的かつ効果的に会津地域の担い手育成を図ることを目的に、新規就農に関わる関係機関と農林事務所が昨年6月に設立したものです。

今回の協議会では、県内外の新規就農希望者と会津地方在住の農業者が意見交換を行う「オンラインツアー」の実施内容や、会津地方で就農を希望する方に対して、市町村や農業法人が直接意見交換を行う「就農相談会」の開催状況などについて報告しました。続いて、新規就農者の確保・育成に実績を上げている昭和村におけるカスミソウ担い手確保の取組みについて、役場担当者から事例発表をしていただきました。

参加者からは、「同じ地域内での特徴的な取組みがわかった」「他地域からの新規参入対応にはきめ細かな移住対応も並行して行う必要がある」などの意見がありました。

今後とも、関係機関と連携して 新規就農者が安心して就農できる環境づくりに取り組んでまいります。【農業振興普及部】



協議会の様子

＼ 農作業安全研修を開催しました ／

令和4年11月30日、道の駅あいづ湯川・会津坂下において、令和4年度の農作業安全モデル地区設置事業の一環として「農作業安全研修」を開催し、新規就農者等27名の参加がありました。

前半は講義とし、当所から「事故から学ぶ農作業安全」と題して、農作業事故の統計的データや事故の事例を示すとともに事故防止のポイントをお伝えしました。後半は、実演研修で「作業機付きトラクターが公道を走るために必要なことと装備」に着目し、会津坂下警察署からは法律的観点から必要な事柄について、農業機械メーカーからは公道走行に必要な灯火器類や表示とその取り付け方等について分かりやすく説明いただきました。

参加者は、農作業安全の意識を高めるとともに、直装タイプの農耕用トラクターでの公道走行が必要となる装備や免許の種類など、公道におけるトラクターの走行についての理解を深めていました。

【会津坂下農業普及所】



▲講義の様子



▲トラクターを使った実演研修の様子

＼ 令和4年度きゅうり環境制御基礎セミナーを開催しました ／

令和5年2月13日、新鶴生涯学習センターにおいて、「令和4年度きゅうり環境制御基礎セミナー」を開催しました。

渡辺パイプ株式会社栽培グループリーダーの市川 真二 氏を講師に迎え、きゅうりの栽培管理における植物生理を意識したハウス内環境を制御する考え方などについて講演いただきました。また、農業総合セン

ター作物園芸部野菜科 柳内 柚香 研究員からは、夏秋キュウリにおけるミスト噴霧による高温対策の他、つるおろし栽培等について試験報告をいただきました。最後に当所から「ICT活用園芸産地革新モデル確立事業」で取組んでいる夏秋キュウリのミスト実証試験の取組について報告を行いました。

参加者は興味深く耳を傾け、質問や意見等が積極的に出されたほか、各資材・機器メーカーによる展示も盛況の様子があがりました。【会津坂下農業普及所】



▲講演の様子

令和4年度「グリーンな栽培体系への転換サポート」 直播実績検討会を開催しました

令和4年12月15日、会津坂下町中央公民館において、「令和4年度『グリーンな栽培体系への転換サポート』直播実績検討会」を開催しました。実証ほの成績報告と各技術の課題や対策について、生産者や関係機関と意見交換を行うとともに、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業総合センターの古畑 昌巳氏・安江 紘幸氏から、技術的・経営的なアドバイスをいただきました。

本事業は国の「みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート）」を活用したもので、水稻の省力化技術と環境負荷軽減技術の普及について調査を進めています。環境負荷軽減の取組である中干し延長と、3つの直播技術（①ドローン直播、②代かき同時浅層土中播種、③乾田直播）を組み合わせた「グリーンな栽培体系」の実証ほを会津坂下町内に設置し、作業実演会や現地勉強会を実施してきました。

これまでの現地実証や検討内容を基に、年度内に「グリーンな栽培体系」のマニュアルを作成・配布する予定であり、今後の技術普及に活かしてまいります。【会津坂下農業普及所】



◀直播実績検討会の様子

令和4年度新規就農者等研修会 「～タネ屋だからわかる品種の話～」を開催しました

令和5年2月21日、道の駅あいづ 湯川・会津坂下において、福島県指導農業士会長 鈴木 光一氏（郡山市）を講師に迎え、「～タネ屋だからわかる品種の話～」を表題に、野菜品種のトレンドなど最新情報に基づき、それを利用した経営・販売戦略について講演していただきました。

講演後には意見交換会を行い、参加者から、少量多品目栽培を実践するときのポイント、肥料、資材価格高騰対策、直売所のポップづくりについてなど多くの質問が出され、それぞれに具体的な回答をいただきました。参加者には、今後の経営に活かせる実践的な知識を得ることができた研修会となりました。【会津坂下農業普及所】



▲研修会の様子

今後は、3月8日に令和4年度新規就農者等研修会「農業機械の点検整備基礎講座」を開催する予定です。

＼フレッシュ農業講座を開催しました／

会津農林高等学校

令和4年12月15日、生徒10名を対象に、先進的な農業施設である猪苗代ライスターミナルと猪苗代町優良堆肥製造施設の見学を実施しました。

猪苗代ライスターミナルでは、フレコン出荷された玄米の高性能色彩選別機による選別から、精米から包装まで一連の製造工程を見学しました。また、町内の家畜排せつ物や生ごみを原料に堆肥を製造している猪苗代町優良堆肥製造施設では、完熟堆肥になる製造工程を見学しました。

生徒から機械の性能や各施設の役割等について熱心に質問が出ており、授業では知ることの出来ない知識が深まった様子でした。【農業振興普及部】



▲猪苗代ライスターミナルでの視察の様子

耶麻農業高等学校

令和5年1月27日、1、2年生約30名を対象として講演会を開催しました。講師として、自営就農でアスパラガス栽培に新規参入された田中圭氏、農業短期大学を卒業後、経営開始に向けて喜多方市の農業法人で研修を受けている須藤裕樹氏、親元就農し、繁殖牛と水稻の複合経営に取り組んでいる日下健吾氏の地域若手農業者3名をお迎えし、それぞれの就農までの経緯や農業経営についてお話をいただきました。

生徒は授業とは一味違った内容を熱心に傾聴していました。農業を職業とすることの魅力伝えることで、独立就農や雇用就農を希望進路として考えるなど、進路の選択肢の幅を広げることにつながることを期待されます。【喜多方農業普及所】



▲講演会の様子

＼会津地方フラワーネットワークを設立しました／

会津産花きの認知度向上や花き利用施設等における利活用促進を図るため、令和5年1月23日、会津東山温泉今昔亭において、花き関係者（生花店、旅館、JA花卉生産部会、農林事務所）25名が一堂に会し、「ふくしまならではの花き」会津地方フラワーネットワークの立ち上げを行いました。

初顔合わせとなった今回は、6つのJA花き生産部会から各産地ならではの特色ある花きについて、また、生花店や旅館からは、花に親しむ取組の事例が紹介されました。

現在の流通体系において、会津産花きは主に首都圏に出荷されており、地元での利活用は十分ではありません。そこで、本ネットワークにおいて生産者や利用者などが交流を図り、アイデアを出し合いながら、会津産花きの利用につながる取組について検討していくことを申し合わせました。【農業振興普及部】



◀ネットワークの様子

★ ★ ★ **がんばる農林漁業者等の取組紹介**

＼会津桐の植樹祭が開催されました／

会津桐の伝統・文化を次世代に継承し、地域住民と共に、桐の生育を実際に目にすることができる身近な場所を創出するため、令和4年11月18日、会津農林高校100年の森において、会津桐植栽イベント実行委員会主催による「会津桐玉植苗植樹祭」が開催されました。



▲植樹祭の様子

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者を限定し、会津農林高等学校、会津里山森林資源育成研究会、会津坂下町、福島県など関係者24名出席のもと、桐玉植苗5本が植栽されました。

本県が開発した桐玉植苗は、従来の分根法による育苗に比べ病気に強く、冬場の獣害にも遭いにくいという特徴があり、桐玉植苗を用いた植樹祭の開催は、昨年度の下郷町大内宿に続いて2回目となります。



当日は晴天に恵まれ、出席者は楽しみながら植樹活動を行った後、室内に場所を移し、会津農林高等学校の生徒から会津桐の現状や課題等の分析、桐材ハンガープレート製作の取組みについて、また、会津里山森林資源育成研究会からは森林緩衝帯造成に関する事例が報告されました。

今後も会津桐の生産振興のため、活動を支援していきたいと思えます。

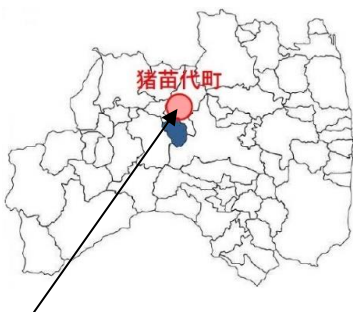
【森林林業部】

ごじゅっけん すながわ さと かい
「五十軒・砂川ふる里づくり会」が多面的機能支払の活動で優秀賞(福島民報社賞)を受賞しました

福島県多面的機能支払推進協議会では、多面的機能支払交付金を活用して他地域の参考となる優れた活動を行う組織を毎年表彰しており、猪苗代町の「五十軒・砂川ふる里づくり会」(猪苗代町)が令和4年度優秀賞(福島民報社賞)を受賞しました。

非農業者が約9割を占める組織において、“水をきれいにしましょう”をキャッチフレーズとした子どもたちとの「水質モニタリング」や、多様な世代が参加する「景観形成活動」などの環境保全活動を通して、地域の交流の場づくりや、農業や環境への理解を促進する取組が高く評価され、今回の受賞となりました。

これからも多面的機能支払交付金の活用を推進するとともに、このような農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に取組んでいる組織を支援してまいります。【農村整備部】



▲水質モニタリング



▲景観形成活動(花の植栽)

【地区概要】

- ・取組面積 90ha(田90ha)
- ・主な構成員 農業者13名 非農業者103名 参加団体5団体
- ・取組内容 農地維持、資源向上(共同)

令和4年度福島県多面的機能支払推進協議会 優良活動組織表彰
詳細は福島県多面的機能支払推進協議会 HP をご覧ください。
→<https://www.f-nmk.jp/activity/commendation/page-1234/>

会津農林事務所からのお知らせ

＼ 宿根かすみそうの生産者をサイトでご紹介しています ＼



みなさんは、奥会津地域が夏秋期の「宿根かすみそう」国内有数の産地であることをご存じですか？地中海沿岸を原産とする宿根かすみそうは、「そよ風が育てる」とも言われ、夏季冷涼な気候を好んで生育します。今回は、宿根かすみそうの生産者について、もっと知ることができるサイトをご紹介します。【会津坂下農業普及所】



今年度から新しく公開している県園芸課の「ふくしまの園芸人」では、県内の主な園芸品目とその生産者を紹介しています。

「宿根かすみそうの産地と生産者」「宿根かすみそうの栽培と特徴」「宿根かすみそうの収穫と染色」の3本の動画でお話されているのが、JA会津よつばかすみ草部会の立川幸一部会長です。純白の宿根かすみそうをきれいに咲かせるための工夫や、様々な色に染め上げる方法、自分の夢、次の目標についてお話されています。

ふくしまの園芸人▶



新規就農者のロールモデルを紹介する県農業担い手課の「ふくのう」。宿根かすみそうの新規就農事例として、JA会津よつばかすみ草部会研究部の佐藤太副部長が紹介されています。

就農するきっかけや、就農前後の動き、これからの目標などを語った記事が複数掲載されており、新規就農のリアルな現場を知ることができる内容になっています。

ふくのう▶



農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400のネタばらし」配信中

農林水産部職員が、それぞれ自由な発想で企画・製作する農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400のネタばらし」。

会津農林事務所 HP では、事務所職員が制作した動画を一覧にまとめていますので、ぜひのぞいてみてください。



YouTube チャンネル「1400のネタばらし」は YouTube で

福島県農林水産部

▲会津農林事務所 HP

検索



こんな動画も制作しました！



「『生きもの調査』喜多方市立関柴小学校」子どもたちが、田んぼの水路に住む生きものの調査に挑戦した様子をお届けします。



「おたねにんじんが学校給食に登場！」おたねにんじん料理のレシピを開発した会津大学短期大学の皆さんも登場します。

会津農林事務所 SNS 更新中

会津農林事務所では、Instagram と Twitter においてイベント情報などを投稿しています。ぜひご覧ください。

▼このアイコンが目印！



aizu_nourin

検索



◀ 会津で育てられる農産物や、動画の更新情報も投稿中

あいづ“まるごと”ネット 会員募集中

会津・南会津地方の地域産業6次化ネットワーク「あいづ“まるごと”ネット」では、会員の交流会開催や販売会・各種研修・補助金等の情報をメルマガ配信しています。地域産業6次化に関心のある個人・団体の方なら業種問わずどなたでも参加できます。ぜひ登録してみてください。



◀ あいづ“まるごと”ネット会員登録について詳細はこちらから(県 HP)

SNS も随時更新中

あいづ“まるごと”ネットの公式 SNS (Twitter、Instagram) では、会津・南会津の6次化商品紹介や、イベント情報を発信しています。

aizumarugotonet

検索

会津の6次化商品のご紹介

「消費者に支持される商品づくり」を目的にした県の6次化共通ブランド「ふくしま満天堂」では、令和5年1月に「ふくしま満天堂グランプリ 2022」を開催し、事前審査で選ばれたプレミアム10商品のなかからグランプリと準グランプリを決定しました。今回は、プレミアム10商品から会津の2商品をご紹介します。店頭で見かけたらぜひお手に取ってみてください！【企画部】



株式会社長門屋本店(会津若松市)

これやま
「是山」

(一箱 2,200 円(税込))

準グランプリを受賞！会津みしらず柿を使った和菓子です。会津みしらず柿食の匠協議会より依頼を受け、2年をかけて開発しました。柿ペーストを柿餡で包んだ一口菓子で、柿そのものの美味しさを再現しました。



お問合せ

株式会社
長門屋本店
☎0242-27-1358

株式会社山内果樹園(会津若松市)

「会津みしらずひとくち干し柿」

(一袋 432 円(税込))

山内果樹園では、会津みしらず柿の生産や、会津産ドライフルーツの加工を行っています。会津みしらず柿のひとくちサイズの干し柿は、添加物・砂糖不使用で自然の柿本来の甘さが楽しめます。



お問合せ

株式会社
山内果樹園
☎0242-26-8773

【ご意見・お問合せ】 福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課

〒965-8501

福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)

☎(0242)29-5369 FAX(0242)29-5389

E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

